

2023年4月12日

2社の「SDGs宣言」策定を支援

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先2社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。あわせて、さいたま市の「SDGs企業認証制度」^注申請支援も行っております。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

注 「さいたま市SDGs企業認証制度」

- ・さいたま市が2021年より開始した、SDGsの理念を尊重した経営を推進する市内企業を認証する制度で、企業の持続的成長に向けた取組みを後押しすることを目指しています。
- ・当行は、市内企業におけるSDGsの取組み推進に貢献するため、さいたま市との包括連携協定に基づき「むさしのSDGsコンサルティング」のサービスメニューに本制度の認証取得に向けた支援を加えています。

《「SDGs宣言」策定企業》

- (1) 有限会社 住まいるはうす
- (2) 星野木材 株式会社（※さいたま市SDGs企業認証制度申請支援）

以上



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)

《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	有限会社 住まいるはうす	星野木材 株式会社
代 表 者	代表取締役 新井 雄二郎	代表取締役 星野 洋一郎
所 在 地	東京都東久留米市滝山5-27-12	埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-359
業 務 種 別 お 業 び 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産売買、仲介取引業 (難易度の高い宅地開発を事業の柱としている) 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材卸売業 ・建材卸売業 ・住宅設備卸売業
創 業 お 業 び 設 立	1997年8月13日	1943年
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なまちづくりに貢献していく ・地域のパートナーシップを広げ社会貢献を行っていく ・自社および事業の環境負荷を軽減させる ・従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な森林を実現するために地域材の利用を促進していく ・従業員がスキルアップできる環境づくりと生産性向上 ・自社および事業の環境負荷を軽減させる ・従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す



有限会社住まいるはうす SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 新井 雄二郎

SDGsの達成に向けた取り組み

持続可能なまちづくりに貢献していく

- ・当社は難易度の高い宅地開発(※)を事業の柱としており、今後も持続可能なまちづくりのために、この取り組みを強化していきます。
 - ・宅地開発設計の段階から、ハザードマップに基づいて様々な災害(水害、土砂災害、土壌汚染)への必要十分な対策を行っていきます。
 - ・建売住宅の脱炭素化に力を入れて行きます。(EVコンセント、エコキュート、二重サッシ、植栽、他)
- (※) 難易度の高い宅地開発(開発事前協議案件)とは、開発前に自治体との調整や協議が必要な宅地開発のことです。街の景観等を維持するため、開発が困難な場所を造成し、利用可能な土地にしています。



【指標】

開発事前協議案件への取り組み件数 ⇒ 2030年度 累計15現場以上(2023年度~8年間)

地域のパートナーシップを広げ社会貢献を行っていく

- ・地元地域(東久留米、清瀬地区)の同業者や工事業者の間で、当社が同業者ネットワークを主催し、積極的に交流や情報交換を行っていきます。
- ・ネットワークでは、SDGsの取り組みも含めて連携していきます。



【指標】

主催する同業者ネットワークへの参加数 ⇒ 2030年度 20社/30人以上

自社および事業の環境負荷を軽減させる

- ・ペーパーレス化(書類の電子化やクラウド利用)を更に推進し、コピー用紙のゴミ排出量を削減していきます。
- ・リフォームで販売可能な建物は極力解体せずに販売し、またリサイクル可能な木材はリサイクルを行っていきます。
- ・宅地開発用地の木材は極力廃棄物とせず、木材チップへと加工することでリサイクルをしています。



【指標】

2022年度 コピー用紙のゴミ排出量 12,500枚/月 ⇒ 2030年度 7,500枚/月(▲40%)

従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す

- ・従業員本人が希望する資格取得を支援していく他、研修やセミナーへの参加も積極的に支援していきます。
- ・従業員の健康維持や健康増進を図るため、健康診断の結果により必要となった場合、2次健康診断の受診も支援していきます。



【指標】

研修やセミナーの参加回数 ⇒ 2030年度 1人当たり 4回/年以上

2次健康診断の受診率 ⇒ 2030年度 希望者受診率100%